

富山県の小中高等学校校歌に 歌われる地域環境

11410013 石黒健太郎



はじめに

校歌…自然環境や歴史的背景
学校の教育目標

様々な機会であう



学校への所属感・連帯感
郷土に対する愛情

既存研究(1)

校歌に関する地理学的研究

・朝倉(1999)、佐々木(2007) 嘉藤(2016)、

校歌の歌詞に含まれる環境要素
校歌に歌われる環境要素の地理的分布と学校の位置関係



その地域の地域環境を明らかにする

既存研究(2)

・塚田(2013)
歌詞の抽出による客観性の保持と恣意性の排除
→テキストマイニングのソフトウェアを用いる。

・月原(2010)
歌詞の分析+主体的要素や歌の制定年
+歌の内容の歴史的变化
→校歌と地域景観の関係を明らかにする。

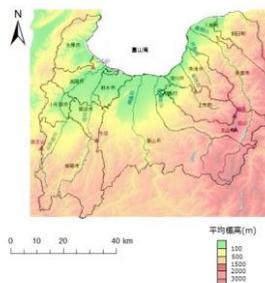
研究目的と方法

富山県の小中高等学校校歌に歌われる地域景観
を明らかにすることを目的とする。

- ①校歌に歌われる環境要素の整理
- ②環境要素の地理的分布とその環境要素を歌う
学校の位置関係の分析



富山県の地形



- ・北に富山湾を有し、東に立山連峰、南に飛騨山地、西に両白山地という三方を急峻な山々に囲まれ、深い湾を抱くように平野が広がる。
- ・1級河川である「5大川」や2級河川を含む「7大川」など数多くの河川が流れている。

→豊かな自然環境に恵まれ、特徴的な自然的景観が多い。
これらの景観要素は、校歌の内容に大きく反映されていると考えられる。

海とその海を歌う学校の位置関係(1)

「有磯海」について

・有磯海は、伏木港から氷見に至るまでの地域を指す言葉であるが、校歌の作詞者は「有磯海」を富山湾全体を指す言葉として使っていると考えられる。



図 奈呉と呼ばれる場所

「奈呉」について

・校歌で奈呉を謳う学校の分布は、歌枕で「奈呉」を指す場所と一致していた。
 ・その地域で「奈呉」が校歌でどのように謳われていたのか検討した。

海とその海を歌う学校の位置関係(2)

校歌の題名	作詞者	作曲者	歌詞中の「有磯海」の位置	歌詞中の「奈呉」の位置
1911年 富山県立第一中学校校歌	山本 龍	山本 龍	有磯海にわたる山	有磯海にわたる山
1912年 富山県立第二中学校校歌	山本 龍	山本 龍	有磯海にわたる山	有磯海にわたる山
1913年 富山県立第三中学校校歌	山本 龍	山本 龍	有磯海にわたる山	有磯海にわたる山
1914年 富山県立第四中学校校歌	山本 龍	山本 龍	有磯海にわたる山	有磯海にわたる山
1915年 富山県立第五中学校校歌	山本 龍	山本 龍	有磯海にわたる山	有磯海にわたる山
1916年 富山県立第六中学校校歌	山本 龍	山本 龍	有磯海にわたる山	有磯海にわたる山
1917年 富山県立第七中学校校歌	山本 龍	山本 龍	有磯海にわたる山	有磯海にわたる山
1918年 富山県立第八中学校校歌	山本 龍	山本 龍	有磯海にわたる山	有磯海にわたる山
1919年 富山県立第九中学校校歌	山本 龍	山本 龍	有磯海にわたる山	有磯海にわたる山
1920年 富山県立第十中学校校歌	山本 龍	山本 龍	有磯海にわたる山	有磯海にわたる山
1921年 富山県立第十一中学校校歌	山本 龍	山本 龍	有磯海にわたる山	有磯海にわたる山
1922年 富山県立第十二中学校校歌	山本 龍	山本 龍	有磯海にわたる山	有磯海にわたる山
1923年 富山県立第十三中学校校歌	山本 龍	山本 龍	有磯海にわたる山	有磯海にわたる山
1924年 富山県立第十四中学校校歌	山本 龍	山本 龍	有磯海にわたる山	有磯海にわたる山
1925年 富山県立第十五中学校校歌	山本 龍	山本 龍	有磯海にわたる山	有磯海にわたる山
1926年 富山県立第十六中学校校歌	山本 龍	山本 龍	有磯海にわたる山	有磯海にわたる山
1927年 富山県立第十七中学校校歌	山本 龍	山本 龍	有磯海にわたる山	有磯海にわたる山
1928年 富山県立第十八中学校校歌	山本 龍	山本 龍	有磯海にわたる山	有磯海にわたる山
1929年 富山県立第十九中学校校歌	山本 龍	山本 龍	有磯海にわたる山	有磯海にわたる山
1930年 富山県立第二十中学校校歌	山本 龍	山本 龍	有磯海にわたる山	有磯海にわたる山
1931年 富山県立第二十一中学校校歌	山本 龍	山本 龍	有磯海にわたる山	有磯海にわたる山
1932年 富山県立第二十二中学校校歌	山本 龍	山本 龍	有磯海にわたる山	有磯海にわたる山
1933年 富山県立第二十三中学校校歌	山本 龍	山本 龍	有磯海にわたる山	有磯海にわたる山
1934年 富山県立第二十四中学校校歌	山本 龍	山本 龍	有磯海にわたる山	有磯海にわたる山
1935年 富山県立第二十五中学校校歌	山本 龍	山本 龍	有磯海にわたる山	有磯海にわたる山
1936年 富山県立第二十六中学校校歌	山本 龍	山本 龍	有磯海にわたる山	有磯海にわたる山
1937年 富山県立第二十七中学校校歌	山本 龍	山本 龍	有磯海にわたる山	有磯海にわたる山
1938年 富山県立第二十八中学校校歌	山本 龍	山本 龍	有磯海にわたる山	有磯海にわたる山
1939年 富山県立第二十九中学校校歌	山本 龍	山本 龍	有磯海にわたる山	有磯海にわたる山
1940年 富山県立第三十中学校校歌	山本 龍	山本 龍	有磯海にわたる山	有磯海にわたる山
1941年 富山県立第三十一中学校校歌	山本 龍	山本 龍	有磯海にわたる山	有磯海にわたる山
1942年 富山県立第三十二中学校校歌	山本 龍	山本 龍	有磯海にわたる山	有磯海にわたる山
1943年 富山県立第三十三中学校校歌	山本 龍	山本 龍	有磯海にわたる山	有磯海にわたる山
1944年 富山県立第三十四中学校校歌	山本 龍	山本 龍	有磯海にわたる山	有磯海にわたる山
1945年 富山県立第三十五中学校校歌	山本 龍	山本 龍	有磯海にわたる山	有磯海にわたる山
1946年 富山県立第三十六中学校校歌	山本 龍	山本 龍	有磯海にわたる山	有磯海にわたる山
1947年 富山県立第三十七中学校校歌	山本 龍	山本 龍	有磯海にわたる山	有磯海にわたる山
1948年 富山県立第三十八中学校校歌	山本 龍	山本 龍	有磯海にわたる山	有磯海にわたる山
1949年 富山県立第三十九中学校校歌	山本 龍	山本 龍	有磯海にわたる山	有磯海にわたる山
1950年 富山県立第四十中学校校歌	山本 龍	山本 龍	有磯海にわたる山	有磯海にわたる山
1951年 富山県立第四十一中学校校歌	山本 龍	山本 龍	有磯海にわたる山	有磯海にわたる山
1952年 富山県立第四十二中学校校歌	山本 龍	山本 龍	有磯海にわたる山	有磯海にわたる山
1953年 富山県立第四十三中学校校歌	山本 龍	山本 龍	有磯海にわたる山	有磯海にわたる山
1954年 富山県立第四十四中学校校歌	山本 龍	山本 龍	有磯海にわたる山	有磯海にわたる山
1955年 富山県立第四十五中学校校歌	山本 龍	山本 龍	有磯海にわたる山	有磯海にわたる山
1956年 富山県立第四十六中学校校歌	山本 龍	山本 龍	有磯海にわたる山	有磯海にわたる山
1957年 富山県立第四十七中学校校歌	山本 龍	山本 龍	有磯海にわたる山	有磯海にわたる山
1958年 富山県立第四十八中学校校歌	山本 龍	山本 龍	有磯海にわたる山	有磯海にわたる山
1959年 富山県立第四十九中学校校歌	山本 龍	山本 龍	有磯海にわたる山	有磯海にわたる山
1960年 富山県立第五十中学校校歌	山本 龍	山本 龍	有磯海にわたる山	有磯海にわたる山
1961年 富山県立第五十一中学校校歌	山本 龍	山本 龍	有磯海にわたる山	有磯海にわたる山
1962年 富山県立第五十二中学校校歌	山本 龍	山本 龍	有磯海にわたる山	有磯海にわたる山
1963年 富山県立第五十三中学校校歌	山本 龍	山本 龍	有磯海にわたる山	有磯海にわたる山
1964年 富山県立第五十四中学校校歌	山本 龍	山本 龍	有磯海にわたる山	有磯海にわたる山
1965年 富山県立第五十五中学校校歌	山本 龍	山本 龍	有磯海にわたる山	有磯海にわたる山
1966年 富山県立第五十六中学校校歌	山本 龍	山本 龍	有磯海にわたる山	有磯海にわたる山
1967年 富山県立第五十七中学校校歌	山本 龍	山本 龍	有磯海にわたる山	有磯海にわたる山
1968年 富山県立第五十八中学校校歌	山本 龍	山本 龍	有磯海にわたる山	有磯海にわたる山
1969年 富山県立第五十九中学校校歌	山本 龍	山本 龍	有磯海にわたる山	有磯海にわたる山
1970年 富山県立第六十中学校校歌	山本 龍	山本 龍	有磯海にわたる山	有磯海にわたる山
1971年 富山県立第六十一中学校校歌	山本 龍	山本 龍	有磯海にわたる山	有磯海にわたる山
1972年 富山県立第六十二中学校校歌	山本 龍	山本 龍	有磯海にわたる山	有磯海にわたる山
1973年 富山県立第六十三中学校校歌	山本 龍	山本 龍	有磯海にわたる山	有磯海にわたる山
1974年 富山県立第六十四中学校校歌	山本 龍	山本 龍	有磯海にわたる山	有磯海にわたる山
1975年 富山県立第六十五中学校校歌	山本 龍	山本 龍	有磯海にわたる山	有磯海にわたる山
1976年 富山県立第六十六中学校校歌	山本 龍	山本 龍	有磯海にわたる山	有磯海にわたる山
1977年 富山県立第六十七中学校校歌	山本 龍	山本 龍	有磯海にわたる山	有磯海にわたる山
1978年 富山県立第六十八中学校校歌	山本 龍	山本 龍	有磯海にわたる山	有磯海にわたる山
1979年 富山県立第六十九中学校校歌	山本 龍	山本 龍	有磯海にわたる山	有磯海にわたる山
1980年 富山県立第七十中学校校歌	山本 龍	山本 龍	有磯海にわたる山	有磯海にわたる山
1981年 富山県立第七十一中学校校歌	山本 龍	山本 龍	有磯海にわたる山	有磯海にわたる山
1982年 富山県立第七十二中学校校歌	山本 龍	山本 龍	有磯海にわたる山	有磯海にわたる山
1983年 富山県立第七十三中学校校歌	山本 龍	山本 龍	有磯海にわたる山	有磯海にわたる山
1984年 富山県立第七十四中学校校歌	山本 龍	山本 龍	有磯海にわたる山	有磯海にわたる山
1985年 富山県立第七十五中学校校歌	山本 龍	山本 龍	有磯海にわたる山	有磯海にわたる山
1986年 富山県立第七十六中学校校歌	山本 龍	山本 龍	有磯海にわたる山	有磯海にわたる山
1987年 富山県立第七十七中学校校歌	山本 龍	山本 龍	有磯海にわたる山	有磯海にわたる山
1988年 富山県立第七十八中学校校歌	山本 龍	山本 龍	有磯海にわたる山	有磯海にわたる山
1989年 富山県立第七十九中学校校歌	山本 龍	山本 龍	有磯海にわたる山	有磯海にわたる山
1990年 富山県立第八十中学校校歌	山本 龍	山本 龍	有磯海にわたる山	有磯海にわたる山
1991年 富山県立第八十一中学校校歌	山本 龍	山本 龍	有磯海にわたる山	有磯海にわたる山
1992年 富山県立第八十二中学校校歌	山本 龍	山本 龍	有磯海にわたる山	有磯海にわたる山
1993年 富山県立第八十三中学校校歌	山本 龍	山本 龍	有磯海にわたる山	有磯海にわたる山
1994年 富山県立第八十四中学校校歌	山本 龍	山本 龍	有磯海にわたる山	有磯海にわたる山
1995年 富山県立第八十五中学校校歌	山本 龍	山本 龍	有磯海にわたる山	有磯海にわたる山
1996年 富山県立第八十六中学校校歌	山本 龍	山本 龍	有磯海にわたる山	有磯海にわたる山
1997年 富山県立第八十七中学校校歌	山本 龍	山本 龍	有磯海にわたる山	有磯海にわたる山
1998年 富山県立第八十八中学校校歌	山本 龍	山本 龍	有磯海にわたる山	有磯海にわたる山
1999年 富山県立第八十九中学校校歌	山本 龍	山本 龍	有磯海にわたる山	有磯海にわたる山
2000年 富山県立第九十中学校校歌	山本 龍	山本 龍	有磯海にわたる山	有磯海にわたる山
2001年 富山県立第九十一中学校校歌	山本 龍	山本 龍	有磯海にわたる山	有磯海にわたる山
2002年 富山県立第九十二中学校校歌	山本 龍	山本 龍	有磯海にわたる山	有磯海にわたる山
2003年 富山県立第九十三中学校校歌	山本 龍	山本 龍	有磯海にわたる山	有磯海にわたる山
2004年 富山県立第九十四中学校校歌	山本 龍	山本 龍	有磯海にわたる山	有磯海にわたる山
2005年 富山県立第九十五中学校校歌	山本 龍	山本 龍	有磯海にわたる山	有磯海にわたる山
2006年 富山県立第九十六中学校校歌	山本 龍	山本 龍	有磯海にわたる山	有磯海にわたる山
2007年 富山県立第九十七中学校校歌	山本 龍	山本 龍	有磯海にわたる山	有磯海にわたる山
2008年 富山県立第九十八中学校校歌	山本 龍	山本 龍	有磯海にわたる山	有磯海にわたる山
2009年 富山県立第九十九中学校校歌	山本 龍	山本 龍	有磯海にわたる山	有磯海にわたる山
2010年 富山県立第一百中学校校歌	山本 龍	山本 龍	有磯海にわたる山	有磯海にわたる山

- ・「奈呉」のイメージのもとになった万葉集の研究者だった作詞者が「奈呉」を歌枕として謳ったのがきっかけで、後の作詞者はその校歌を参考にして作詞したのではないかと考えられる。
- ・「奈呉」の地域で起こった出来事が校歌の歌詞に反映されている。

おわりに

- ・富山県の校歌に謳われた景観要素は、基本的に山は可視性、河川と海は距離に依存する。
- ・富山県の海の要素には歌枕が多く、そこには作詞者による意図がみられた。
- ・また校歌は、作られた当時の自然環境が校歌の歌詞や歌詞に含まれる景観要素に反映される。

参考文献

- ・ 朝倉隆太郎1999『山と校歌-中学校校歌にうたわれている山地』二宮書店。
- ・ 石川貴士1993.小学校校歌にみる福岡の環境イメージ.環境システム研究21:257-263.
- ・ 小沢達三1979.『富山県校歌全集』バラムウント社。
- ・ 嘉藤翔太2016.校歌に謳われる景観と地域イメージ.自然と社会82:21-30.
- ・ 浅見昌子2001.小中学校校歌にみる近江の風景イメージに関する研究.環境システム研究論文集29:257-263.
- ・ 新谷秀夫2016.『うたわれた富山湾-「洪谿」から「有磯海」へ-』日本海学研究会叢書。
- ・ 広瀬誠1975.『立山と白山:その歴史・伝説・文学』北国出版社。
- ・ 玉川 謙彦1977.『越中風土記』創土社。
- ・ 塚田伸也2013.群馬県中学校の校歌を事例としたテキスト分析により導かれる山岳の景観言語の検討.ランドスケープ研究76:727-730
- ・ 富山県観光公式サイト
- ・ <http://www.info-toyama.com/spot/21103/>
- ・ 藤田直子2005.多摩ニュータウンの小・中学校校歌にみる地域性と時代性.理論地理学ノート15:13-28
- ・ 矢部恒彦・北原理雄・徳山節孝1995.小学校校歌に謳われた全国の地域景観イメージに関する研究.日本建築学会計画系論文集472:111-122.